

三崎地区中学校適正配置協議会ニュース

第3号（平成22年12月14日発行）

11月24日（水）に第3回協議会を開催しました。協議会ニュース（第2号）の発行についての報告、第2回会議録の承認の審議を行った後、前回の協議会に引き続き意見交換を行いました。

「通学区域の変更の妥当性について」と「隣接校との統合の妥当性について」の2つのテーマのもと、保護者や教員、学識経験者、地域の代表それぞれの立場で、各委員から通学区域の変更に伴う影響や部活動の実態、教員1人当たりの授業時数などについて、現状や委員自身の経験を踏まえた意見が出されました。

意見交換 ～委員からの主な意見～



1 通学区域の変更に伴う影響について

- 栄町、岬陽町、宮川町を上原中学校区から三崎中学校区に変更した場合、この3地区の子どもが小学校入学時において本来の指定校である岬陽小学校ではなく、三崎小学校に通う可能性があり、このことにより小学校の児童数に影響が出ることも考慮しなければならない。
- 保護者は、子どもが安全に学校に通えることを第一に考えるので、安全面や利便性でメリットの多くない栄町、岬陽町、宮川町からの三崎小学校への入学はそれほど多くはならないと考えられる。
- 現在、小中学校の入学先については柔軟な対応をしているので、栄町、岬陽町、宮川町を三崎中学校区としても上原中学校に通う生徒が机上の計算より多くなり、三崎中学校と上原中学校の規模、学級数のバランスについて教育委員会が示したシミュレーションのとおりにならない可能性もある。

2 部活動と学校規模の関係について

- 三崎中学校においては、運動部の数は他校に比べて少ない状況である。
- 生徒数が増えて教員数も増えれば、顧問の確保が可能となり部活の数も増える。生徒の選択の幅が広がり、部活動の活性化につながる。
- 希望する部活がないために、学区を越えて別の中学校に通いたいと思う生徒が出てくる可能性がある。
- 教員数が少ない場合、専門性を生かした部活動の指導が難しくなる可能性が高い。ただし、大規模校であれば、専門性を生かした指導が必ずできるということではない。
- 三崎中学校ではサッカー一部の選手が足りず、他の部活から選手の応援を得て春の中総合に参加した。また、上原中学校においても、野球部の選手が足りないためにソフトボール部の選手の応援を得て大会に参加するということがあった。



部活動と学校規模の関係について(おもて面より続き)

- 他市では2つの学校が合同で練習し、大会に参加する「合同部活」という状況も出始めている。ただしこの場合は、大会規程により関東大会等へは進めないことになっている。
- 部活動の活性化には指導者や地域の環境が大きく影響する。強い部活には自然と生徒が集まってくる。
- 部活動による特色ある学校づくりについても、今後、別の機会に検討していく必要がある。

◎部活動の設置及び部員数の状況(平成22年5月1日現在)

No.	名称	三崎中学校										上原中学校									
		1年		2年		3年		小計		合計	1年		2年		3年		小計		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女			
運動部	1 陸上競技	10	2	13		10	2	33	4	37	7	3	9				16	3	19		
	2 バスケットボール	6	5		1	5	2	11	8	19	16	6	2	5	3	15	21	26	47		
	3 サッカー	3			2	2		5	2	7	12		18		16		46		46		
	4 軟式野球	5		6		14		25		25	1		7		6		14		14		
	5 バレーボール		10		3		7		20	20		7		7		4		18	18		
	6 ソフトテニス		4		13		7		24	24	5	15	4	13	5	8	14	36	50		
	7 卓球										3		4		8		15		15		
	8 ソフトボール											5		11		7		23	23		
	小計	24	21	19	19	31	18	74	58	132	44	36	44	36	38	34	126	106	232		
文化部	1 音楽		5		7		6		18	18											
	2 美術		2		3		2		7	7		4	2	7	2	6	4	17	21		
	3 パソコン	4		3	1	10	2	17	3	20											
	4 吹奏楽										6	2		4		7	6	13	19		
	小計	4	7	3	11	10	10	17	28	45	6	6	2	11	2	13	10	30	40		
合計	28	28	22	30	41	28	91	86	177	50	42	46	47	40	47	136	136	272			
生徒数	30	31	25	30	48	29	103	90	193	50	46	48	52	45	52	143	150	293			
加入率(%)	93.3	90.3	88.0	100.0	85.4	96.6	88.3	95.6	91.7	100.0	91.3	95.8	90.4	88.9	90.4	95.1	90.7	92.8			

3 教員1人当たりの授業時数について

- 教員数が少なくなると、教員1人当たりの授業時数のばらつきが教科によって生じてしまう。これを平準化するためには、学校現場においてさまざまな苦勞がある。
- 現在の三崎中学校の教員配置数がぎりぎりの状態である。これ以上学級数が減って、教員も減ることになれば、数学や英語などの教科で1人の教員が3学年すべてを指導するという状況になってしまう可能性がある。
- 通学区域を変更した場合と、隣接校との統合をした場合の教員の負担を比較して、どちらが望ましいのかを議論するべきである。



三崎地区中学校適正配置協議会ニュース(第3号) 平成22年12月14日発行

発行: 三崎地区中学校適正配置協議会

編集: 三浦市教育委員会事務局 教育部 総務課(三浦市城山町6-9)

電話 046-882-1111(代表) FAX 046-881-7854

E-Mail kyoui0101@city.miura.kanagawa.jp

人・まち・自然の鼓動を感じる都市 みうら